

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No.73
平成 19 年 11 月 1 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

元に戻す (Ctrl+Z)

コンピュータの機能で、もっとも便利でコンピュータでしかできなくて、確実な機能が、「元に戻す」です。

例えば、お絵描きの場合。すでにある絵の上に描いた線を確実に削除するには、「元に戻す」(線を描かなかったことにする)がもっとも正確に削除できます。重ねてしまったものは、「消しゴム」で消すと、もともとあった部分も消えてしまいますし、どんなに慎重に消してもきれいに消せない場合がほとんどです。

ワードやエクセルなど、ほとんどのアプリケーションでは、ツールバーなどに「元に戻すアイコン」(通常、左向きに回っている矢印)があり、これをクリックすると、作業前の状態に戻ります。いくつもの作業を一気に戻ることができるものもあります。また、戻れる作業の最大数は、アプリケーションによって決まっていますが、Windows XP の MS - ペイントでは、3回です。

「元に戻す」アイコンがない場合でも、たいていの場合、メニューの「編集」「元に戻す」(「取り消し」となっている場合もあります)で元に戻すことができます。このとき、マウスでメニューをクリックしなくても、キーボードの Ctrl+Z (Ctrl キーを押さえたまま Z のキーをチョンと押す、)という操作でもできます。マウス操作がつかない低学年では、メニューを辿るより確実です。

こういう、Ctrl キーなどと文字キーを組み合わせて操作するやり方を、ショートカットキーと言います。

パソコンで何か作業していて、「あっ、間違えた」とか、「うまくいかなかった」といったときには、あれこれ操作する前に、まず「元に戻す」を考えるといいと思います。

子どもたちが、「センサー！！」と声を上げたとき、一目で直し方がわかったとしても、私は必ず、子どもたちが間違ったところまで「元に戻し」ます。たいていは、自分で直そうとしてあれこれ操作したあげくに、にっちもさっちもいなくなつてのセンセイコールですから、そうした「あれこれ」を全てなかったことにして、初めに「困った」ところまで戻り、なぜそうなったのか、そうならないための操作はどうすればよかったのかを、子どもたちと見直します。そうしないと、次にまた同じ「困った」が起こります。「元に戻す」も覚えれば、自力で操作でき、センセイコールはずっと減らすことができます。困ったときは、まず Esc キー、そして「元に戻す」です。